

〈授業改善推進プラン 令和5年度第1学年 国語科〉

<p>1. 『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現する上で解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学期終了時点でひらがなの読み書きは、まだ不安定な部分もある。音読は、繰り返し練習すればよどみなくできるようになる。語彙が少ないため、一語一語の区切りや意味理解が難しい様子が見られる。 ・読書において、文字を追うだけで内容理解にまでいかないため進んで物語読むことが難しい傾向にある。 	
<p>2. 課題改善に向けた取組状況</p> <p>(1) 令和3年度授業改善推進プラン記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度未就学のため、記載なし。 <p>(2) 今年度実践している「『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現するための工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読集を使って短い文を読む繰り返しの練習をしたり、読み聞かせをすることで物語に親しんだりする機会を作っている。 ・言葉理解のために挿絵をヒントにして想像してみたり、登場人物になり切って気持ちを言語化したりする。また、友達の考えをよく聞いて様々な考えを取り入れるように声かけをしている。 	
<p>3. 課題の改善に向けた方策と検証方法</p> <p>＜方策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文字定着と読み強化のための音読練習を家庭学習と隙間時間などに継続して取りませせる。 ②挿絵から想像する、動作化することで言葉理解につなげ、楽しみながら身に付けられるようにする。また、多くの関連図書に触れることで興味関心を広げるように工夫する。 	<p>＜検証方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2学期末までに、教科書の文や問題文などを一定の速度で正しく読めるようになったか。 ②物語文「やくそく」「くじらぐも」の学習で、登場人物の気持ちを想像して表現することができたか。説明文「うみのかくれんぼ」の学習で、他の興味をもった生き物について調べようとしたか。
<p>4. 検証結果(成果と課題)</p> <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習を積み重ねることで、平仮名・片仮名・既習の漢字をスムーズに読み書きできるようになった。 ・登場人物になりきって考えることで、様子を想像することができた。また、関連図書を読み興味関心を広げることができた。 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き順を正しく覚えられなかったり、書字が乱れたりする。 ・想像する力が弱く、語彙が少なく表現が乏しいこと。 	<p>5. 令和6年度(次学年)の学習指導において特に留意すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙が少ないので、様々な表現方法を学べるような工夫をしていく。 ・書字の際には、姿勢・鉛筆の持ち方だけでなく、「とめ・はね・はらい」や形を意識して、常に丁寧に書くことを注意していく。
<p>6. 令和6年度(次学年)末に期待する児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちや様子を想像して、自分の言葉で表現できるようになること。 	

【別紙2】

〈授業改善推進プラン 令和5年度第1学年 算数科〉

<p>1. 『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現する上で解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none">・文字、言葉理解が弱いため、文章を読んで理解することが難しい様子が見られる。・「5は1と4」「5は2と3」のように、「片方が1増えたらもう一方は1減る」法則を見付けても、その後の学習に生かせず毎回始めから行う様子が見られる。	
<p>2. 課題改善に向けた取組状況</p> <p>(1) 令和3年度授業改善推進プラン記載内容</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年度未就学のため、記載なし。 <p>(2) 今年度実践している『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現するための工夫等</p> <ul style="list-style-type: none">・具体物を用いる、大切な言葉を見付けるようにする。・既習事項を思い出させて、新しい学習に使えることを理解させる。	
<p>3. 課題の改善に向けた方策と検証方法</p> <p><方策></p> <ul style="list-style-type: none">①文章から図に表したり、ヒントとなる言葉に印を付けたりする。②タブレットなどの活用で繰り返しの反復練習を行い、具体物も使いながら理解を促す。	<p><検証方法></p> <ul style="list-style-type: none">①2学期末までに、自分に合った方法を見付けて問題文章を理解することができるようになったか。②繰り上がりのあるたし算、繰り下がりのある引き算の学習で、1学期の学習内容を使って考えることができたか。
<p>4. 検証結果(成果と課題)</p> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・図を描くことで、文章問題を理解できるようになった。・タブレット利用やゲーム感覚での取り組みをすることで、概ね定着した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none">・「$32+5$」が「$5+32$」になると、混乱してしまうことがある。・見直しができず、うっかりミスをしてしまう。	<p>5. 令和6年度(次学年)の学習指導において特に留意すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none">・時間が経つと忘れてしまうことが多いので、既習事項を使う学習の前には、しっかりと復習をする。・具体物を操作すると理解できることが多いので、それを頭の中で思い描けるようにする。
<p>6. 令和6年度(次学年)末に期待する児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none">・既習事項をしっかり押さえ、応用ができるようになること。	

【別紙2】

〈授業改善推進プラン 令和5年度第1学年 生活科〉

<p>1. 『わかる』から『できる』を体感する授業を実現する上で解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none">・いろいろやってみよう、挑戦してみようというような向上心が薄くて新しいことへの抵抗があるように感じられる。・経験が少ないため、何をやったらいいのか（できるのか）が分からない状況が見られる。	
<p>2. 課題改善に向けた取組状況</p> <p>(1) 令和3年度授業改善推進プラン記載内容</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年度未就学のため、記載なし。 <p>(2) 今年度実践している『わかる』から『できる』を体感する授業を実現するための工夫等</p> <ul style="list-style-type: none">・子供同士で考えたり解決したり試行錯誤したりする活動を重視して、時には助言や新しい考えのヒントを与えるなどして、様々な体験ができるようにしている。・母島の環境では「動物を飼う、秋や冬を見付ける」などの活動が難しく、児童数が少ないことにより多様な意見を比較することや集団遊びをすることが難しいため、取り組み方を工夫して母島の環境下や少人数でもねらいが達成できるように工夫している。	
<p>3. 課題の改善に向けた方策と検証方法</p> <p><方策></p> <ul style="list-style-type: none">①何ができるか、どうすればできるかを考えさせ、できることをやってみる。必要に応じて、保護者への協力を得るようにする。②代わりにする物を使ったり、動画を活用したりする。	<p><検証方法></p> <ul style="list-style-type: none">①2学期秋で遊ぶ活動を通して、自分たちで考え協力しながらおもちゃや飾りなどを作ることができたか。②育てた朝顔の蔓や種のほかに、島にある木の実や種子を使って、工夫して遊ぶことができたか。
<p>4. 検証結果(成果と課題)</p> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・遊びの中から、どうしてという疑問をもって考え、工夫して活動することができた。・島について考えたり、感じたりすることができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none">・友達の考えを聞くと、それ以外のものを考えられずに新たな意見が出てこなくなること。	<p>5. 令和6年度(次学年)の学習指導において特に留意すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none">・まずは、自分の考えをもって活動し、自分と友達の違うところを見付けることができるようにする。・友達の良いところを受け入れ、みんなで協力してより良いものにしていくようにする意識をもたせる。
<p>6. 令和6年度(次学年)末に期待する児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none">・自分たちで考えて、試して、協力してより良い生活を送ろうとすること。	

〈授業改善推進プラン 令和5年度第1学年 音楽科〉

<p>1. 『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現する上で解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度1学期末に実施した授業評価アンケートにおいて、音楽科では「じゅぎょうがすき」「がくしゅうしたことがわかりました」「じゅぎょうは、わかりやすい」「しつもんすると、わかりやすくこたえてくれる」という項目に、全ての児童が「はい」と答えている。学習内容の定着についても、どの児童も基準を満たし、意欲的に学習に臨んでいる。 			
<p>2. 課題改善に向けた取組状況</p> <p>(1) 令和3年度授業改善推進プラン記載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度は未就学であるため、なし。 <p>(2) 今年度実践している『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現するための工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> 帯活動として、リズムに合わせて楽器を自由に触れる時間を設定し、楽器の扱い方や音の出し方、鳴り方を体験的に理解できるようにする。 歌唱や器楽の演奏は、範唱や範奏を何度も繰り返し、自然と覚えられるようにする。 児童の興味関心に合わせてレパートリーを決定し、蓄積していく「うたのほん」を作り、意欲的に学習に取り組めるようにする。 鍵盤ハーモニカの学習の際は、ハーモニカ本体と児童の指に小さなシールを貼り、それらが対応できるようにする。 			
<p>3. 課題の改善に向けた方策と検証方法</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>＜方策＞</p> <p>①個別指導での、児童の疑問点を解消する。</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>＜検証方法＞</p> <p>①年2回実施される授業評価アンケートの実施内容を分析。</p> </td> </tr> </table>		<p>＜方策＞</p> <p>①個別指導での、児童の疑問点を解消する。</p>	<p>＜検証方法＞</p> <p>①年2回実施される授業評価アンケートの実施内容を分析。</p>
<p>＜方策＞</p> <p>①個別指導での、児童の疑問点を解消する。</p>	<p>＜検証方法＞</p> <p>①年2回実施される授業評価アンケートの実施内容を分析。</p>		
<p>4. 検証結果(成果と課題)</p> <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の興味・関心に合わせて、自由に体験できる時間を設定したことで、歌唱や演奏の技術の向上や学習への意欲を高めることができた。また、指導の中の声かけなどを通して、児童の疑問点をすぐに解消し、授業に安心して取り組めるよう支援することができた。 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな課題は無いが、鍵盤ハーモニカの運指については正しさを重視した指導は行っていないため、独特の指使いをしている場合がある。それでも、全ての児童が、リズムや音色を意識した演奏をすることができている。 	<p>5. 令和6年度(次学年)の学習指導において特に留意すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に、体を自由に動かしてリズムに乗ったり歌ったりすることで、音楽の学習が楽しいと感じたり、学習への意欲が高まったりする傾向が強い。逆に、学習への意欲が低下すると、学習活動のパフォーマンスが大きく低下することが予想される。 		
<p>6. 令和6年度(次学年)末に期待する児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの様々な音楽に親しみながら、楽しく協働的に音楽活動に取り組む児童。 			

【別紙2】

〈授業改善推進プラン 令和5年度第1学年 図画工作科〉

<p>1. 『『わかる』から『できる』を体感する授業』を実現する上で解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none">・自分が何をどのようにすればよいのか分からず、なかなか制作を始められない児童がいる点が課題である。・小学校入学前までに習得した既成概念が影響しているのか、いわゆる「可愛い絵」や「カッコいい形」をまねる傾向があり、独自性を追究する作品がなかなか見られない点が課題である。	
<p>2. 課題改善に向けた取組状況</p> <p>(1) 令和3年度授業改善推進プラン記載内容</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年度未就学のため、記載なし。 <p>(2) 今年度実践している『『わかる』から『できる』を体感する授業』を実現するための工夫等</p> <ul style="list-style-type: none">・授業の導入で本時のめあてを提示し、教科書の該当箇所を全員で確認することで、制作方法や作品例を知り、円滑に制作を始められるようにする。・制作過程において一人一人の作品の良い点を具体的に褒めることで、独自性を追求する作品制作をできるようにする。	
<p>3. 課題の改善に向けた方策と検証方法</p> <p><方策></p> <p>①授業の導入で本時のめあてを提示し、教科書の該当箇所を全員で確認することで、制作方法や作品例を知り、円滑に制作を始められるようにする。</p> <p>②制作過程において一人一人の作品の良い点を具体的に褒めることで、独自性を追求する作品制作を追求できるようにする。</p>	<p><検証方法></p> <p>①3学期末までに、円滑に制作を始められるようになったか。</p> <p>②3学期末までに、独自性を追求する作品制作を追求できるようになったか。</p>
<p>4. 検証結果(成果と課題)</p> <p><成果></p> <p>本時のめあてを提示し、教科書の該当箇所を全員で確認することで、円滑に制作を始められるようになった点は成果である。</p> <p><課題></p> <p>良い点を具体的に褒めることで、児童の制作意欲や自己肯定感を高めることはできたが、独自性を追究する作品制作まではあと一歩だった点が課題である。</p>	<p>5. 令和6年度(次学年)の学習指導において特に留意すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none">・褒められたいと思うあまり、いわゆる「可愛い絵」や「カッコいい形」をまねる傾向から完全には脱却できていないので、独自性(誰の作風にも似ていない物)を制作することが大切だということを繰り返し伝える。
<p>6. 令和5年度(次学年)末に期待する児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none">・独自性を追求する作品制作を行う児童。	

【別紙2】

〈授業改善推進プラン 令和5年度第1学年 体育科〉

<p>1. 「『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現する上で解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none">・ゲーム遊びなどで複数チームを作ることが難しく、多様な活動や作戦，考えが出にくいこと。	
<p>2. 課題改善に向けた取組状況</p> <p>(1) 令和3年度授業改善推進プラン記載内容</p> <ul style="list-style-type: none">・令和3年度未就学のため，記載なし。 <p>(2) 今年度実践している「『わかる』から『できる』を体感する授業」を実現するための工夫等</p> <ul style="list-style-type: none">・2年生と合同体育を行い，人数を増やす。・器械・器具を使つての運動遊びや体づくり運動の中でも複数人での取り組みを入れ，協働学習の機会を増やす。	
<p>3. 課題の改善に向けた方策と検証方法</p> <p><方策></p> <p>①様々な場面で共同学習を取り入れ，多様な考え方や取り組み方に触れられるようにする。</p>	<p><検証方法></p> <p>①マット遊びや体づくり運動などの中で，協働するときにより良い方法を考え，相手に伝えることができたか。</p>
<p>4. 検証結果(成果と課題)</p> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・友達の良いところも見て，より良い方法を考えて運動することができた。・苦手な事にも挑戦して，できることが増えた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none">・能力に差があり，同じようにはできない。・楽しむことだけに夢中になってしまい，一つ一つの運動が疎かになってしまう。	<p>5. 令和6年度(次学年)の学習指導において特に留意すべき事項</p> <ul style="list-style-type: none">・個々のレベルに合った，様々な運動の場を設ける。・スモールステップで，できる達成感を味わい運動を楽しむ工夫をする。
<p>6. 令和6年度(次学年)末に期待する児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none">・自分の運動能力の向上を目指し，友達と仲良く楽しんで活動する。	